

主催：神戸大学国際文化学研究推進センター(Promis)
共催：大学と連携したまちづくりチャレンジ事業（灘区）
「ブックカフェやゲストハウスを活かした地域活性化」プロジェクト

古書店とゲストハウスのはなし 大分と神戸の対話

現在、地域アート、ゲストハウス、ブックカフェ、コミュニティシネマなど地域のつながりを物質的に担保する場が次々と生まれています。今回は、その担い手をお招きしてお話をうかがいます。大分からお迎えするのは、東京生活や海外放浪を経て地元でブックカフェを開きながら、「たびするシュレー」や「大分で会いましょう」などのプロジェクトを通じて大分に文化の渦を作っている岩尾晋作さん。神戸からは、高校時代の大分滞在がきっかけとなって王子公園でゲストハウスを構える朴徹雄さん。お二人は自身の場所を通じて地域や世界とどのようにつながっているのでしょうか。

2019.2.18 (mon) 19:00 start

岩尾晋作：「カモシカ書店」店主
1982年大分市生まれ。法政大学、文化服装学院卒。都内の映画会社・大手書店に勤務したのち、インドへの旅を経て独立。2014年に大分でカモシカ書店をオープン。



朴徹雄：「ゲストハウス萬家」オーナー
1982年ソウル生まれ。高校時代に日韓学生交流会で耶馬溪（大分県）に滞在。東京・品川のゲストハウス勤務を経て独立。2017年に王子公園でゲストハウス萬家をオープン。



会場：古本屋ワールドエンズ・ガーデン（阪急神戸線「王子公園駅」西口下車徒歩5分）
※20時半ごろよりゲストハウス萬家で交流会を予定しております

問合せ：神戸大学国際人間科学部・辛島理人(karashima@people.kobe-u.ac.jp)